



マルディグラ協奏曲2013



毎年グアムウィメンズクラブが開催するクレージーなマルディグラ仮面舞踏会が下記の要領で開催されます。

日時：2月15日（金）午後6時よりスタート

場所：ハイアットリージェンシーバンケットルーム

入場料：一人\$ 65

参加申し込み及びお問い合わせは：

Mae Cotton: 646-8048 大久保恵子：649-0769

ウッドレー節子：swoodley@netpci.com

Caroline Sablan: chsablan@bankogguam.com

Website: www.guamwomensclub.com

この舞踏会はニューオーリンズやリオのカーニバルで有名なキリスト教の謝肉祭の最終日を祝う祭り、人々は思

い思いの奇抜な衣装に身を包み、街をパレードします。グアムのマルディグラ舞踏会も2013年は”Hats Off”というテーマで英国のウィリアム王子の結婚式に参列した淑女たちの帽子のファッションにあやからうというものようです。当日は仮装した淑女たちがホテルのロビーを練り歩きますので、参加するのは・・・と尻込みする方は見学にお出かけください。



尚、このイベントはグアム大学奨学金調達のチャリティイベントです。 S. W.

私のふるさと

前月号の編集後記からの続きですが、私のふるさとを紹介します。私が生まれ育ったところは愛媛県四国中央市というところ。水が豊富だったため、昔から「紙のまち」として有名で、製紙、紙加工業が盛ん(紙製品の出荷額は6年連続日本一)です。ユニ・チャームや大王製紙などの上場企業や中堅の製紙メーカーが数多く存在しています。気候は温暖で瀬戸内型気候で、北には鯛や鯖の漁場で知られる燧灘(ひうちなだ)、南に法皇山脈(平清盛で有名な後白河法皇が三十三間堂建立に使った木材が優秀であったため法皇と呼ぶことを許された山脈)があり、自然に囲まれ何となくノスタルジーがある田舎の風景と煙突が立ち並ぶ工業地帯の両面があるところです。愛媛という「みかん」とよく言われますが、実際に瀬戸内の気候がみかん、ゆず、すだちなど適しているのでしょうか、山にはみかん畑が数多く見受けられます。お隣の香川県で有名なのは、勿論「さぬきうどん」です。昔から四国4県の交通の中心であった我が街にも、とってもおいしいうどん屋さんが沢山あります。JR予讃線川之江駅前にある「たつ家」、JR予讃線箕浦駅近く国道11号線の道の駅豊浜にある「鳥越製面所」なんかがお奨めです。四国と言えばやはり、空海(弘法大師)のゆかりの地である四国霊場(四国八十八箇所)を巡る「お遍路」が有名です。昔から四国は京から遠く離れた場所で、平安時代には修験者の修業の地とされていました。我が街にも由霊山三角寺(四国八十八箇所65番札所)があります。その他にあまり知られていませんが、四国別格二十霊場というものがあり、88箇所と20箇所を足すと煩惱の数108になるそうです。我が街にも延命寺(12番霊場)仙龍寺(13番霊場)椿堂

(常福寺：14番霊場)があります。四国八十八箇所をすべて巡るには徒歩で40日間、車で10日間ほどかかります。廻り方次第ですが、1,100~1,400Kmの旅になります。各札所を巡りし本堂と大師堂をお参りし、決められた手順に従い、般若心経などを読経または写経をして、その証としてお札を納めます。その一連の所作を納経といいます。いつかは私も四国遍路で「結願成就(88箇所すべてを廻ること)」を果たしたいと思います。機会があれば、四国遍路にチャレンジされてみてはどうでしょうか。古くから四国には「お接待」(道中、お遍路さんに対して地元の人々から食べ物や飲み物などの無償の提供がなされる伝統)というものがあります。四国遍路は地元の人との関わりもその醍醐味だそうですね。最近、四国は映画やドラマのロケ地として有名で、「世界の中心で愛を叫ぶ」、「八日目の蝉」、「坂の上の雲」、「龍馬伝」等です。第63回カンヌ映画祭に出品された2010年5月公開、成海璃子主演の「書道ガールズ わたしたちの甲子園」という映画は、この四国中央市を舞台にここで撮影されたものだそうです。この映画を見て頂ければ私のふるさとの街並がご覧頂けます。映画のシナリオは、地元高校の書道部が、書道パフォーマンスによって寂れた地元の紙産業を盛り上げるといった内容ですので、相当寂れた感が強調された映像となっておりますがなかなかうまく表現されています。俳優人の方言もなかなかうまいものです。ただの田舎まちなのに、映画やドラマのシーンでその風景を見ると、気がつかなかったけどその良さを再認識させられます。

編集委員 篠原 隆紀

